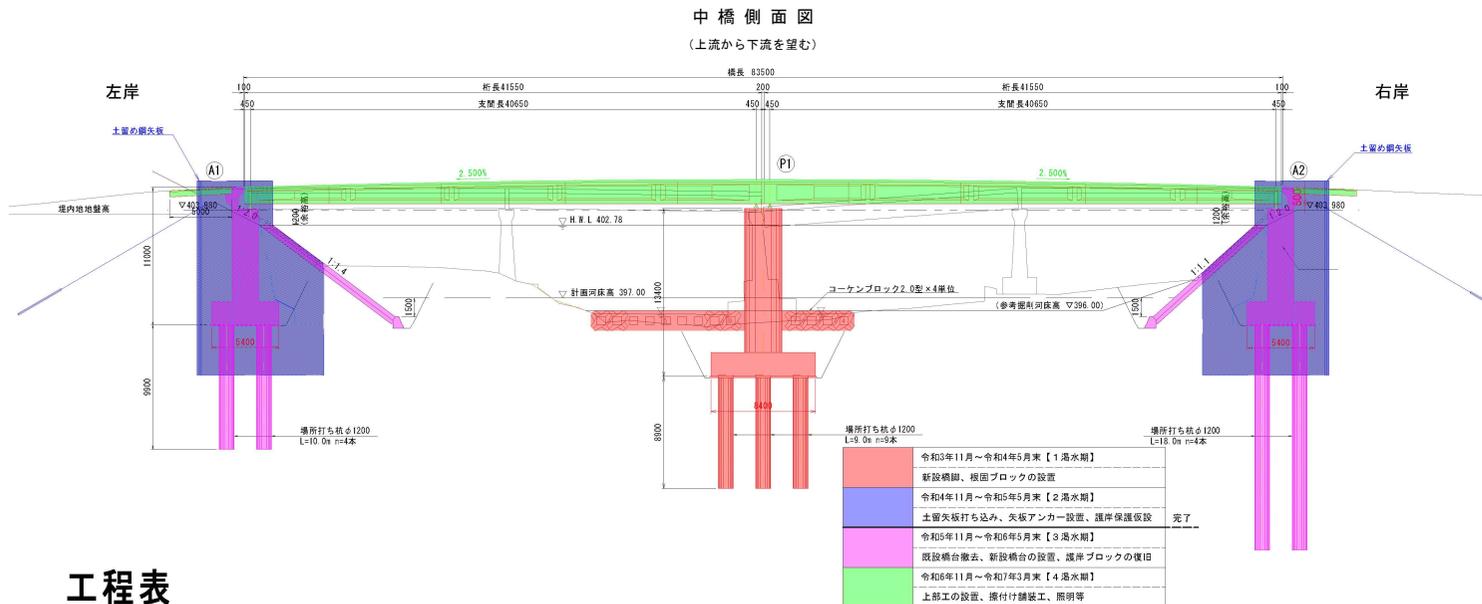


# 令和3・4年度 過年発生土木施設補助災害復旧事業 橋りょう架設工事 (市道1-5南信濃5号線 飯田市 南信濃 和田 中橋)

令和5年12月13日 予算決算委員会産業建設分科会  
議案第119号 補足説明資料(建設部)



## 工程表

工程	令和3年度			令和4年度						令和5年度						令和6年度																						
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3							
	第1湯水期			出水期						第2湯水期						出水期						第3湯水期						出水期						第4湯水期				
①変更前	着工	P1橋脚			休工						仮設設置右岸	仮設設置左岸	A2橋台	A1橋台	仮設撤去	休工	上部工	竣工																				

### <工程変更の主な要因>

- 仮設盛土用の土砂運搬において、同時期に同じルート(国道418号)を三遠南信工事で土砂運搬しており、地元との協議により、道路混雑を回避するため、各社使用ダンプを制限しての施工となったため、土砂運搬に日数を要した。【8台を5台以内に制限、予定1.5ヵ月→3ヵ月】
- A2橋台置換工でケーシング掘削が既設のコンクリート埋設物(重力式擁壁)に当たるものが8本以上あり、施工日数を要した。【1本あたり1~2日、計0.5ヵ月の遅延】
- A1側仮設盛土を施工中に、想定外の天候悪化による河川の増水が発生し仮設大型土嚢及び盛土土砂が流出したことから、施工の中断と段取り替えに日数を要した。【0.5ヵ月程度】

工程	令和3年度			令和4年度						令和5年度						令和6年度																										
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
	第1湯水期			出水期						第2湯水期						出水期						第3湯水期						出水期						第4湯水期								
②変更後	着工	P1橋脚			休工						仮設設置右岸	仮設設置左岸	潮道設置撤去 置換杭工 アンカー工等	仮設撤去	休工	仮設設置	A2橋台	右岸護岸	仮設撤去	A1橋台	左岸護岸	休工	上部工	竣工																		

## ■ 工事概要

- 復旧延長 L=98.1m
- 橋長 L=83.5m 幅員W=5.2m
- 上部工(PC2径間連結プレキャストT桁橋)L=83.5m
- 下部工(逆T式橋台) N=2基
- 橋脚工(重力式橋脚) N=1基
- 護岸復旧工 一式 根固めブロック工 N=58個
- 舗装復旧工 A=110m<sup>2</sup> 仮設工 一式

## ■ 請負業者

株式会社近藤工務店

- 当初請負額(R3.9.27) 564,300,000円
- 第1回変更請負額(R5.3.20) 742,137,000円
- 補正予算額 401,000,000円
- 全体事業費 1,143,137,000円 (予定)

## ■ 事業費の変更

令和3年度から債務負担行為により3年間で実施する予定であるが、工期が長期間であるため、この間にコンクリートや鋼材などの価格が著しく上昇したことと、1湯水期分の仮設工の増工により大幅な事業費の増額が必要となった。

### <主な内容>

- ・インフレスライド適用による労務費及び建設資材価格変動分の増額【2.3億円】 ※下表参照
- ・1湯水期分の仮設工の増工等【1.7億円】

○主な資材等の単価上昇(R3.7 → R5.10)

主な資材等	単位	単価(円)		上昇額(円)	上昇率
		スライド前	スライド後		
労務費(例:普通作業員)	人	19,800	21,900	2,100	1.106
生コン(例:18-8-25BB)	m <sup>3</sup>	18,550	24,400	5,850	1.315
鉄筋(例:SD345 D13)	t	84,200	123,200	39,000	1.463

○本工事における工事費の増額(概算額)

工種	単位	増額分(千円)
上部工	式	161,400
下部工	式	22,800
その他工種(仮設工含む)	式	46,000
合計		230,200

## ■ 工程の変更

本工事と同時期に行われている三遠南信関連工事の影響により、土砂運搬車両の台数制限を行う必要が生じたことなど、様々な制約により工期延長をしなければならない状況となった。 ※工程表参照